

(別紙様式1)

令和3年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分豊府高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>1 世界標準の学力向上 ①進学状況 : 難関・最難関大学35名, 国公立大学203名合格。京大1, 国立大医学部1の現役合格。思考力・判断力・表現力を問われる形式の総合型選抜や学校推薦は56名(合格率54%)が合格。 ②授業改善 : 職員会議後の授業改善研修11回, 授業研究会2回の計15回(全て中高合同)実施。職員全員が授業改善を意識して, ICT機器を活用した授業等意欲的に取り組んだ。 →中高教員対象アンケートにおいて, 授業改善を意識している教員の割合96%, ICT機器を週1回以上活用している教員の割合ほぼ100%</p> <p>2 コミュニケーション力の育成を基盤とした人間力の向上 ①コロナ禍において多くの制限がかかる中、豊饒祭をはじめとする学校行事を成功させることができた。 ②学校生活アンケートによる生徒の状況把握, 教育相談係を中心とした学校生活に課題を抱える生徒等の早期発見・早期対応をもとに, 安心安全な学校作りができています。</p> <p>3 ワークライフバランスの充実 ①本年度の夏季休暇の取得率は94.9%(5日の未取得者は8名)、年休取得日数は, 9日と7.5時間(1月末)であった。 ②39メールの配信を行い, 保護者に対する情報提供を丁寧に行った。また学校ホームページへの公開は, 7/29以降148回(2/12現在)で, 保護者、地域の方々、本校を志望する中学生に対するPRを積極的に実施した。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
創造的な知性と豊かな人間性, 逞しさを備え, 高い志を持って国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成	<p>1 中高一貫教育の特色を活かし, 中学・高校の全教職員が協働して, 6年間・3年間で生徒を育成する教育を推進する (1)生涯に渡り学び続ける学習意欲の醸成に基づく学力を育成する指導の推進(中高一貫した教科指導, 思考力・判断力・表現力を育成する授業実践, 生徒が自主的に学ぶシステム構築) (2)コミュニケーション力の育成を基盤とした人間力を育成する指導の推進(生徒の自己・他者理解を深め, 広い視野を有し何事にも誠実に取り組む実践力を育成する特別活動や人権教育等) (3)生きる力を育む進路指導システムの体系化を進めるとともに, 進学力を向上させる組織的対応システムの推進(中高一貫した進路指導体制, 海外の生徒との交流, 系・コース選択指導の充実) (4)安心して学べる環境づくり, 信頼される学校づくりの推進 2 中高一貫教育の特色を活かして中学校・高校の全教職員が協働して, 正確, 迅速, 効率的に業務を遂行できる学校経営体制を確立する(中高協働した業務システム構築, 統合FS・OENシステムの活用)</p>	<p>1 生涯に渡り学び続ける学習意欲の醸成に基づく学力向上 2 コミュニケーション力の育成を基盤とした人間力の向上 3 ワークライフバランスの推進による業務の精選, 効率化・平準化</p>

PL:プロジェクトリーダー, SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 生涯に渡り学び続ける学習意欲の醸成に基づく学力向上	(1)生徒授業アンケートにおける回答率 ・「授業に満足しており, 授業内容に興味を持てる」85%以上 ・「授業に自ら参加し, 自ら考えようとしている」85%以上 ・「主体的学習の時間が確保できている」80%以上	生徒の「主体的な学習態度」を育むための方策の策定, 実践	・「Hofu Time」を活用した主体的な学習姿勢の育成 ・年2回の生徒授業アンケートの実施と活用 ・ICTを活用した学習支援の推進(デジタル教科書の活用推進, 動画配信, 課題提供)	PL:教務 SL:教科統括
	(2)職員アンケートにおける回答率 ・「中高連携した学習指導が図られている」70%以上	「高い志を持って学ぶ」楽しさと教科の枠を超えた「知識・技能の生きた活用」を生徒が実感するための授業改善	・思考力・判断力・表現力を育成するアセスメントテストの実施及びその検証 ・年3回の授業研究会の実施	PL:教科統括 SL:教務
		生徒一人ひとりの特長を活かした進路選択のためのキャリア意識と自己管理能力の育成	・高1高2のオープンキャンパスへの参加率100%と事前事後指導の充実 ・きせきノートを活用した進路面談や教科面談を学期に1回以上 ・1, 2年生の学習時間平日3時間・休日5時間以上, 3年生の平日5時間・休日8時間以上	PL:進路指導 SL:教科統括
2 コミュニケーション力の育成を基盤とした人間力の向上	(1)安心・安全アンケートにおける回答率 ・「安心して学校生活が送れている」90%以上 (2)学校行事生徒アンケートにおける回答率 ・「学校行事を通して感動体験をすることができた」80%以上 ・「他者の意見を尊重し, 協働活動をする事ができた」80%以上 (3)部活動生アンケートにおける回答率 ・「部活動に主体的に活動できている」80%以上 ・「学業との両立ができている」70%以上 職員アンケートにおける回答率 ・「中高連携した学校行事が実施できた」70%以上	学校生活を通しての, リーダーシップがとれる人材育成と他者と協働する姿勢の育成	・生徒会主催の専門委員会を, 月1回実施 ・あったかハート123(県指定)の完全実施とスクールカウンセラーとの情報共有を目的とした教育相談会議を週1回実施	PL:生徒指導 SL:特別活動
		学校行事・部活動を通じた感動体験の充実	・特別活動における学校行事企画会議を, 学期1回以上実施 ・部活動生集会を, 学期に1回以上実施 ・部顧問による部活動生面談を, 年1回以上実施	PL:特別活動 SL:生徒指導
		学校行事を通じた中高連携の推進	・中高合同による分掌(主任)会議を, 月1回実施	PL:教務 SL:特別活動
3 ワーク・ライフ・バランスの推進による業務の精選, 効率化・平準化	・夏季休暇の取得日数5日の達成割合が(95%)以上 ・年休取得日数10日以上以上の達成割合が(80~90%)以上 ・「月1回の定時退庁日」の達成割合が(80~90%)以上 ・学校閉庁日(2~3日)の達成割合が100% ・定期健康診断の受診と要精密検査受診割合が100% ・「衛生委員会」の実施割合が90%以上	業務の計画的な見直しと年休等休暇取得の呼びかけ	・毎月設定の「定時退庁日」を, 月2回以上 ・計画年休の設定を, 学期に2回以上	PL:管理職 SL:衛生管理者
		行事や諸会議の見直しによる生徒への指導に向き合う時間の確保	・分掌, 学年, 行事の業務内容の精選し, 月行事予定に反映 ・連絡手段デジタル化を推進(HPの更新, 39メールの活用)し, 前年度並みの回数達成	PL:特別活動 SL:教務
		職場環境の改善と産業医による指導・助言と生徒の安全の確保	・職員・生徒へ, 交通安全の呼びかけと交通事故月3件未満 ・教員の時間外勤務月8時間未満, 90%達成	PL:生徒指導(教育健康相談) SL:衛生管理者